

2007年2月2日

厚生労働省記者クラブの皆様

厚生労働大臣の辞任を求める議員と市民のネットワーク
事務局・寺町みどり 岐阜県山県市西深瀬 208

柳澤厚生労働大臣の罷免および辞任を求める「申し入れ書」提出について

私たちは、社会的弱者が人として尊重され、誰もが人間らしく暮らせる地域社会を実現するために、どの政党や組織とも一線を画して、地方自治の現場で働く無党派・市民派の議員および市民です。

1月27日の柳澤伯夫厚生労働大臣の発言を報道で知り、強い憤りを感じています。地方政治にかかわるものとして、柳澤氏が当然、政治家の責任として、説明責任を果たし辞任されるものと推移を見守っていましたが、辞任もせず職務をまっとうされるとのこと。与党は柳澤大臣の辞任を求めず、安倍首相は罷免するどころか柳澤大臣を擁護する発言を繰り返しています。野党は辞任を求めて審議拒否する中、国会内の思惑ばかりが先行し国民が置き去りにされ、この問題が選挙や政争の具になろうとしています。

いま地方の現場では産み育てやすい環境づくりに努力しているのに、国の担当大臣が少子化の問題を女性だけに押し付け、「一人頭でがんばってもらうしかない」とは言語道断。私たちは単に「機械、装置」という言葉に怒っているのではなく、こうした権力的な関係性に憤っているのです。大臣がカイロ宣言(リプロダクティブ・ライツ)も理解せず、このような考えでは、少子化対策が進むはずはありません。

私たちはこのような状況に強い危機感を感じ、地方自治の現場の当事者女性としての声を届けたいと、安倍首相に厚生労働大臣の罷免を、柳澤大臣に辞任を求めることにしました。この申し入れは、無党派・市民派の自治体議員と地域で活動する女性たちに呼びかけたものです。今回の問題は、地域にくらす一人ひとりの女性たちが強い怒りを感じており、「どこに抗議すればよいかわからなかった」と、昨日からたった一日半で全国各地からメールが届き、正午までに、議員48名(16都府県)、市民205名(26都道府県)、19団体が名を連ねました。

「申し入れ書」は、先ほど、安倍首相と柳澤大臣にそれぞれFAXで送り、正文は後刻、本日中に速達で発送します。

つきましては、以下に、安倍首相と柳澤大臣に送付した「申し入れ書」と「提出者名簿」をお送りします。お忙しいと思いますが、この「申し入れ書」提出のことを、一人でも多くの方に知らせていただければ幸いです。私たちの止むにやまれぬ思いと行動が実現されることを願ってやみません。以上、よろしくお願ひします。

(お問い合わせおよび連絡先)
事務局 寺町みどり
T/F ...
携帯電話 ...